



二輪草だより

平成28年1月号
発行:二輪草センター

センターの活動予定

- ◆2月23日(火) 第23回二輪草セミナー開催
- ◆2月下旬 二輪草プラン推進委員会議
二輪草だより2月号発行

H27年度 冬休みキッズスクール 終了報告

平成28年1月6日～8日の三日間、第16回キッズスクールを開催しました。今回は初参加の6名を含め総勢29名の子ども達が参加しました。

第一日目、最初のプログラムは『作ってあそぼ!』でフォトフレームを作りました。木の枠にフェルトやスパンコール、レースやモールを飾り、それぞれ彩に溢れる素敵なフレームが出来ました。午後は学生ボランティアの皆さんが「お水とおシッコがマンはダメダメ!!」と題した劇と「オシッコの旅～ろ過と再吸収」というゲームを通して、腎臓や膀胱の仕組みや役割について教えてくれました。学生さんがコミカルに、お水を飲むこと・トイレに行くことの大切さを演じて下さったので子ども達も大爆笑! 楽しく学ぶことが出来ました。その後は「おやつを作ろう!」でうどんを潰して、そこにカボチャを混ぜてカボチャ団子を作りました。手にくっつくだんごに苦戦しながらもニコニコ笑顔で、最後はあんこやみたらしを付けて美味しく食べました。



第二日目はマジックショー&ミニコンサートです。マジックショーは旭川医大奇術研究会の医学科二年・滝口僚也くんが行って下さいました。最初に、ハンカチが一瞬でステッキに変わるマジックで心を掴むと、子ども達は大歓声!! その後も次々とマジックやバルーンアートを披露して下さいました。その次は旭川医大ギター部の皆さんのコンサートです。ギターはもちろん、ピアノ・カホン・クラリネットなど様々な楽器で三曲披露して下さい、その見事なパフォーマンスに子ども達も先生方も大喝采!! 最後にみんなで「さんぽ」を合唱して終わりました。普段は見えないお兄さん・お姉さんの多才な一面に魅了された一時間でした。お昼は学生食堂に行きました。自販機で食券を買い、注文・受け取りから片付けまで自分で行います。ちょっぴり大人気分美味しいご飯を堪能しました。

午後は腎泌尿器外科の松本成史先生が「オシッコの不思議～腎臓と膀胱の仕組みと働き」と題する特別授業を行って下さいました。まずは動画やスライドで腎臓や膀胱の仕組みや働きを教して下さい、エコーを使って実際に学生さんの腎臓や膀胱、肝臓なども見せて下さいました。また、小便小僧の由来なども楽しく教して下さい、ユーモアとアイデア溢れる授業に子ども達も大喜びでした。



第三日目、午前中は雪中運動会でした。しんしんと雪の降る中、カルタ取りやそりリレー、宝探しゲームなど全身雪まみれになって楽しみました。

午後からは職業体験で、七階西病棟の稲場幸子副看護師長が「看護師のお仕事」についてスライドを見ながら教えて頂き、その後、実際に聴診器や血圧計を使ってお友達の診察をしたり、包帯を巻いたりして看護師のお仕事を体験しました。子ども達は真剣に、でも楽しそうに行っていました。

最後に、閉校式で校長先生に終了証をもらって三日間のキッズスクールは終了しました。

今回も20名以上の学生ボランティアの皆さんにご協力頂きました。準備から片付け迄、積極的にご協力頂いた学生の皆さんに心より感謝申し上げます。また、いつも快く場所を提供して下さい藤井智子教授をはじめとする看護学講座の諸先生方、ご理解とご協力を頂いている各部署の皆様にも心より御礼申し上げます。



北海道HP「北の女性☆元気・活躍・応援サイト」でセンターが紹介されました
詳しくは<http://www.l-north.jp/katsuyaku/message/nirinsou/>をクリック!



第23回二輪草セミナー開催のお知らせ

日時:平成28年2月23日(火)12時~12時55分
場所:輸血部カンファレンスルーム 中央診療棟3階
対象:全職員・学生

「様々な職種の方から仕事と家庭の両立、体験談を聞きますか?」

- ☆臨床検査技師 中森 理江さん
- ☆主任薬剤師 山本 香緒里さん
- ☆8階西病棟副看護師長 尾上 恵子さん

昼食をご持参の上、
お気軽にご参加下さい。

2015年10月23日に第14回大学改革シンポジウムに参加しました。

二輪草センター助教 菅野恭子

2020年に指導的地位に占める女性の割合30%の実現に向けて、女性の活躍促進の取り組みを着実に前進させるための新たな総合的枠組みとして今年の夏、女性活躍推進法が成立し来年4月1日に施行されることになりました。これをうけて今回のテーマは「女性の活躍促進」でした。日本は就業者に占める女性割合に比べると管理的職業従事者に占める女性の割合は国際的に見て低く、研究者に占める女性割合の国際比較では日本は14.6%と1位のポルトガルの45%を大きく下回っています。今回のシンポジウムでは複数の大学から女性研究者支援の取り組みについての紹介がありました。基調講演では積極的に女性研究者の支援に取り組んでいる東京農工大学学長の松永是氏より具体的なお話がありました。中でも注目を集めたのが常勤の教授、准教授、講師、助教に女性を採用した場合当該専攻等にプラス1名分の特任助教の人員費を支給するポジティブアクション「プラス1」です。これによって高い階級の女性研究者の増員を図れたとの事でした。

秋田大学では研究支援員制度を設け、女性研究員の出産・育児と研究の両立を支援するために大学院生および学部学生を研究支援員として配置する制度で、後に配偶者が大学等の研究者である男性研究者や、家族の介護を行っている研究者等に対象を拡大しているとのことでした。パネルディスカッションでは女性限定の教員公募に弊害や問題はないかとの質問に対して、優れた女性を発掘できているといった意見や、「女性は今まで機会が与えられなかったので成長できなかった。マインドセットを変えることでポジティブアクションを起こす良い機会である。」といった意見ができました。

本学では二輪草センターの活動を通して環境整備が整ってきていますが、政府の掲げる目標に達するにはまだ時間を要するものと思われます。全国に先駆けて子育て世代の女性職員のサポートシステムを整えてきた本学において今後指導的立場に立つ女性職員が一層増えていくために二輪草センターが果たす役割の重要性を再認識しました。



病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談

【12月20日～1月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	10回	稼働回数	10回
病児・病後児保育室	依頼回数	6回	利用回数	6回
カウンセリング相談			利用回数	1回

* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

【お問い合わせ先】旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)

〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249

開設時間8時30分～17時15分 E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp

ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>

